

# アンケート調査結果

いつも-itsumo-編集部

当記事ではお金を借りる方法を詳しく調査するため、様々な方法でお金を借りたことのある方を対象にアンケートを実施いたしました。

消費者金融や銀行系カードローンなどいくつかお金を借りる方法がありますが、実際どれを選んだら良いかわからない方も多いと思います。

お金を借りるには自分に合った金融機関での借り入れ方法を選ぶのがおすすめです。

「お金が必要だけどどこでお金を借りたらいいかわからない...」と悩んでいる方は是非参考にしてください。

## 目次

アンケート調査概要.....	2
Q1.主な借入金額はいくらですか？.....	3
Q2.現在の年収はどれくらいですか？.....	5
Q3.借り入れているお金の使用目的は何ですか？.....	7
Q4.お金を借り入れる際に重視したことはなんですか？.....	8
Q5.各借入方法を選んだ理由は何ですか？.....	9

# アンケート調査概要

お金を借りた経験のある方の実態や傾向を調査するため、金融機関から借り入れ経験がある方、合計432名を対象にアンケート調査を行いました。

目的	お金を借りる方法の実態調査
調査期間	2025年10月29日～2025年11月14日
調査対象者	金融機関から借り入れ経験がある方（合計：431名）  ＜詳細＞ <ul style="list-style-type: none"><li>・消費者金融で借り入れ経験がある方（144名）</li><li>・銀行カードローンで借り入れ経験がある方（114名）</li><li>・クレジットのキャッシング枠で借り入れ経験がある方（78名）</li><li>・キャッシュレス決済アプリで借り入れ経験がある方（6名）</li><li>・国の制度で借り入れ経験がある方（18名）</li><li>・友達・家族からお金を借り経験がある方（60名）</li><li>・その他の借り入れ方法で借り入れ経験がある方（10名）</li></ul>
調査項目	全8問質問項目は同一
調査会社	<a href="#">ランサーズ株式会社</a>
調査方法	Webアンケート

借り入れ方法別の傾向も調査するため、432名中以下のような内訳で同一の質問に回答していただきました。

借り入れ方法別調査対象者	
消費者金融	144名
銀行カードローン	114名
クレジットのキャッシング枠	78名

上記調査にて数値化した内容を分析し、当記事の内容を根拠づけております。

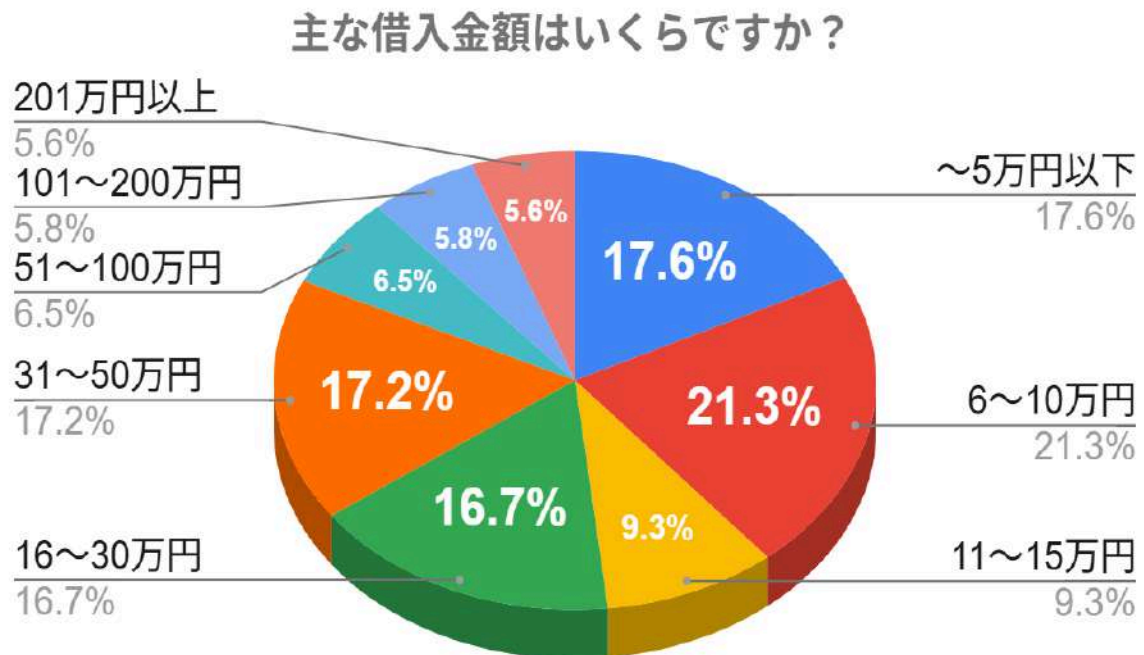
自身の経済状況や借り入れたい金額によっておすすめの借入先は異なるため、是非参考にしてください。

以下よりアンケート結果を質問項目ごとに詳しく紹介していきます。

## Q1.主な借入金額はいくらですか？

金融機関でお金を借り入れたことがある方に、どれくらいの金額を借り入れたのかを回答していただきました。

全体の結果は以下の通りです。

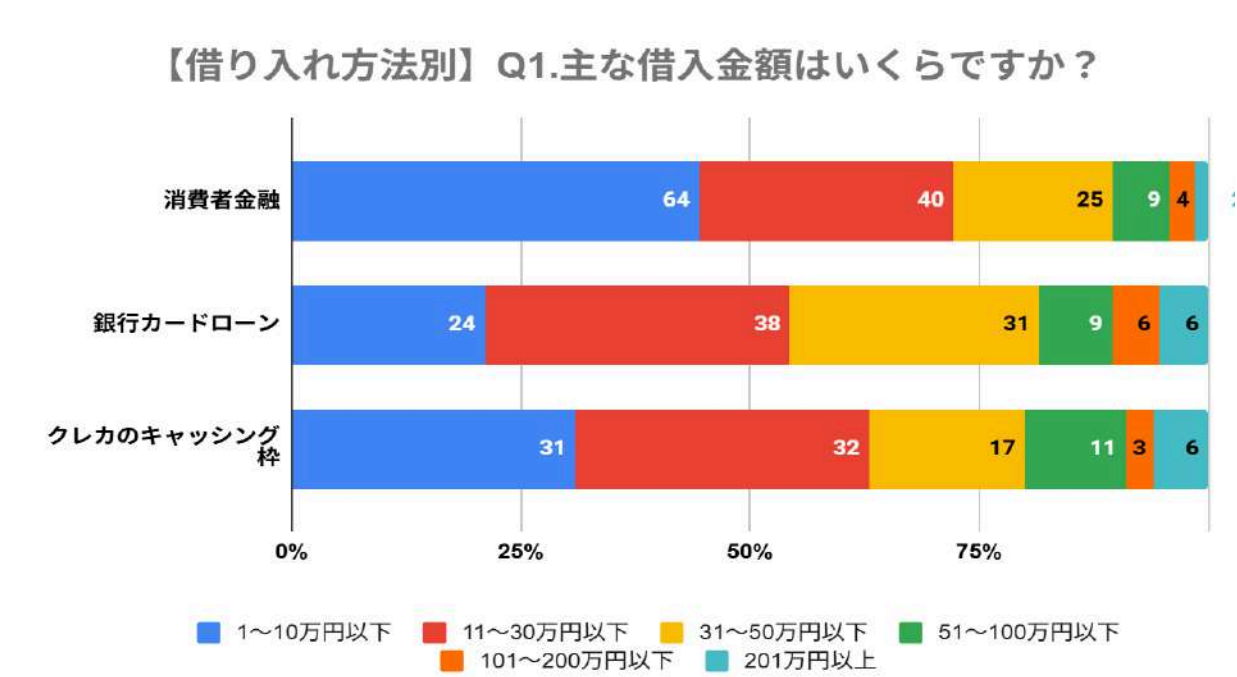


Q1.主な借入金額はいくらですか？（431回答）	
～5万円以下	76人（17.6%）
6～10万円	92人（21.3%）
11～15万円	40人（9.3%）
16～30万円	72人（16.7%）
31～50万円	74人（17.2%）
51～100万円	28人（6.5%）
101～200万円	25人（5.8%）
201万円以上	24人（5.6%）

1～10万円以下が38.9%と最多となりました。  
次いで11～30万円以下が26.0%で、30万円以下の少額借入が全体の6割以上を占める結果です。

「お金を借りる＝高額」というイメージを持つ方もいるかもしれませんが、実際には50万円以下の借入が8割以上と大半を占めており、生活費の補填や一時的な資金ニーズで小口借入をする人が多いことが分かります。

また借り入れ金額に関して、借入方法別の結果は以下の通りです。



【借り入れ方法別】 Q1.主な借入金額はいくらですか？（423回答）			
	消費者金融	銀行カードローン	クレカのキャッシング枠
1～10万円以下	64人	24人	31人
11～30万円以下	40人	38人	32人
31～50万円以下	25人	31人	17人
51～100万円以下	9人	9人	11人
101～200万円以下	4人	6人	3人
201万円以上	2人	6人	6人

借入方法別に見ると、3手段とも借入の中心は50万円以下で、特に消費者金融は少額帯に強く偏っています。

銀行カードローンとクレカのキャッシング枠も50万円以下が大半ですが、高額帯は相対的にこの2つに多めです。

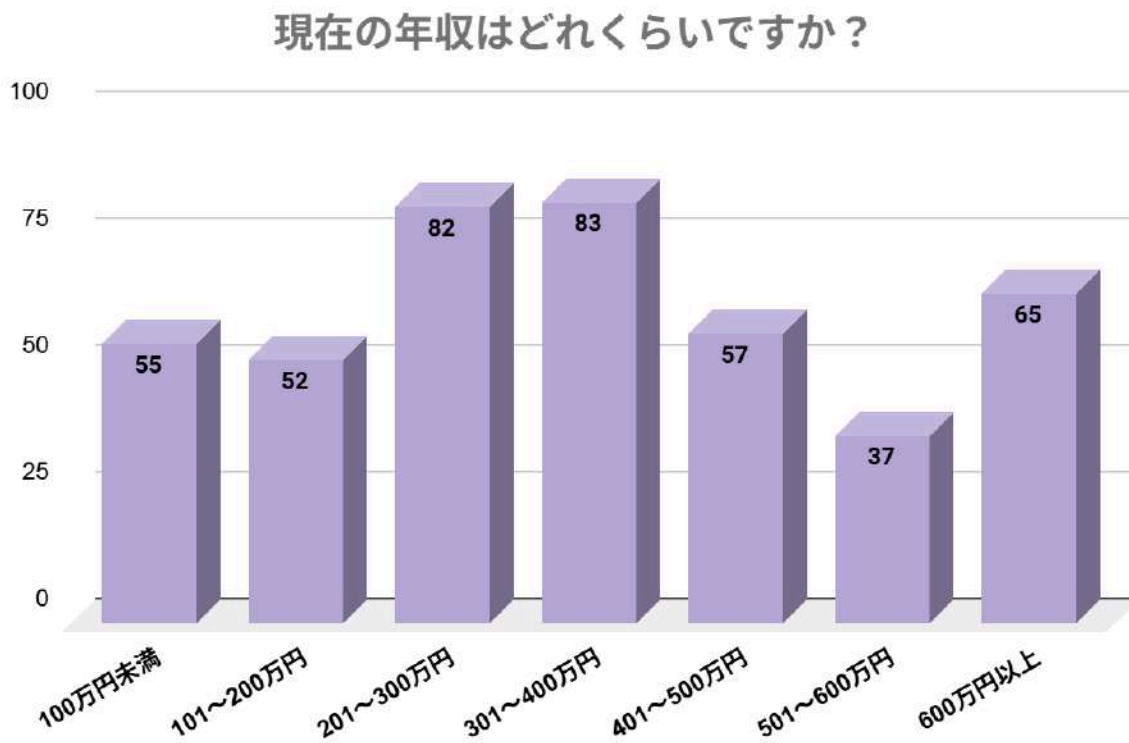
この結果から、50万円以下の少額融資なら「消費者金融」「銀行カードローン」「クレカのキャッシング枠」が有力な選択肢といえます。

また、200万円超の資金が必要な場合は、今回の3手段では回答が少ないため、別の高額向けローンの検討が現実的です。

## Q2.現在の年収はどれくらいですか？

借入経験のある方に現在の年収に関して回答していただきました。

全体の結果は以下ようになりました。



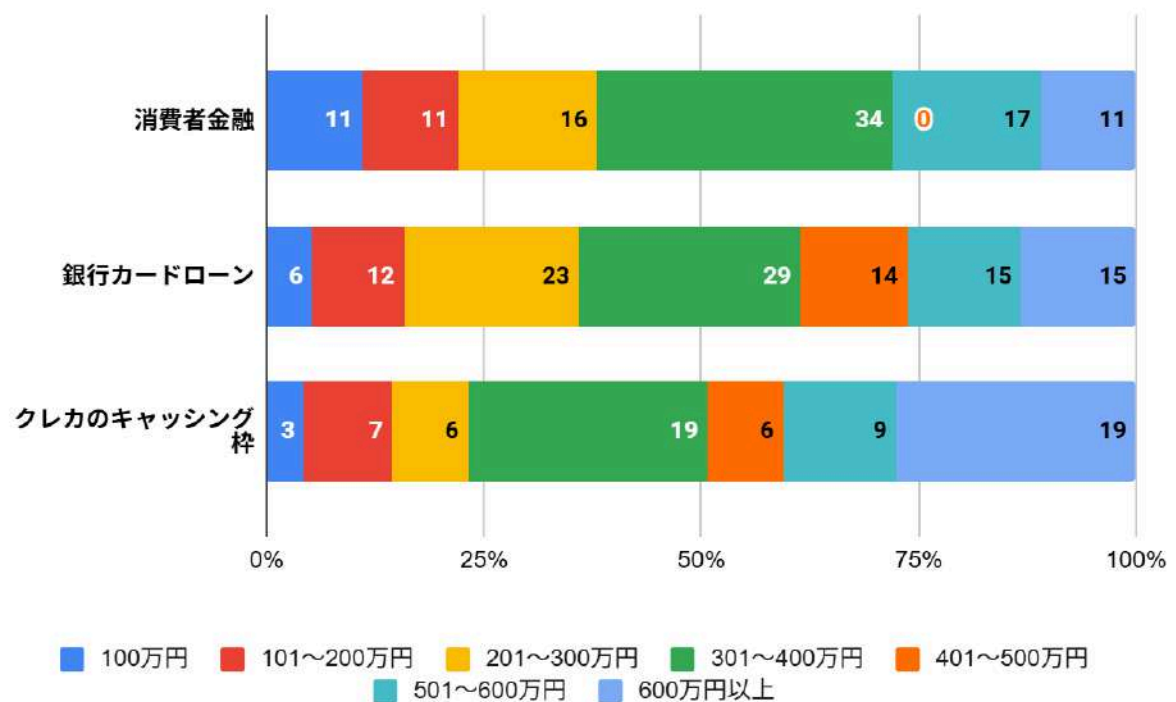
Q2.現在の年収はどれくらいですか？（423回答）	
100万円未満	55人（12.8%）
101～200万円	52人（12.1%）
201～300万円	82人（19.0%）
301～400万円	83人（19.3%）
401～500万円	57人（13.2%）
501～600万円	37人（8.6%）
600万円以上	65人（15.1%）

特に300～400万円程度の年収で借入を行った方が多いという結果となりました。

ですが借入れ経験者に大きな年収の偏りはなく、100万円未満の人から600万円以上の人まで幅広い経済状況であることが分かります。

借入方法別の年収調査結果は以下の通りです。

### 【借り入れ方法別】現在の年収はどれくらいですか？



【借り入れ方法別】 Q2.現在の年収はどれくらいですか？（423回答）			
	消費者金融	銀行カードローン	クレカのキャッシング枠
100万円	11人	6人	3人
101～200万円	11人	12人	7人
201～300万円	16人	23人	6人
301～400万円	34人	29人	19人
401～500万円	0人	14人	6人
501～600万円	17人	15人	9人
600万円以上	11人	15人	19人

借り入れ方法別に現在の年収に関して分析した結果、年収別で借入方法に大きな差は見られませんでした。

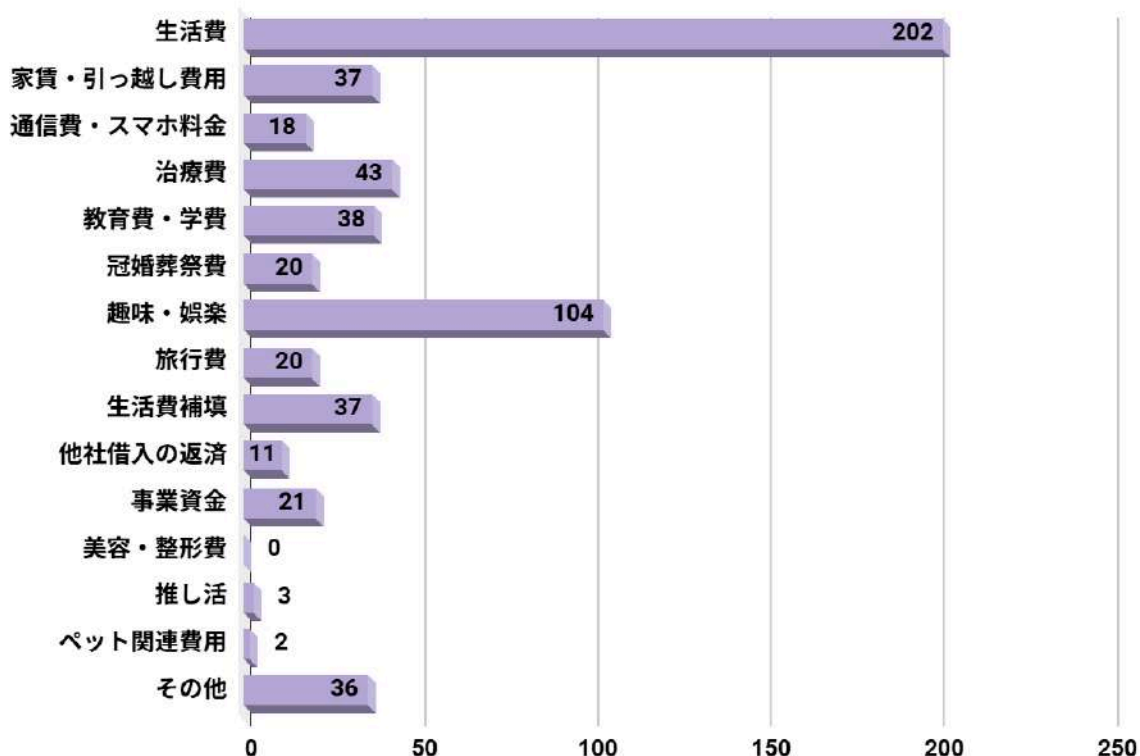
年収だけではなく、他社からの借り入れ状況や信用調査の結果などを踏まえて審査は行われます。

そのため自分の経済状況に不安がある方でも、十分融資を受けられる可能性があります。

### Q3.借り入れているお金の使用目的は何ですか？

金融機関でお金を借り入れている方に、借り入れたお金の使用目的について回答していただきました。

借り入れているお金の使用目的は何ですか？



Q3.借り入れているお金の使用目的は何ですか？（423回答）

生活費（食費・光熱費など）	202人（34.1%）
家賃・引っ越し費用	37人（6.3%）
通信費・スマホ料金	18人（3.0%）
医療費・病気・ケガなどの治療費	43人（7.3%）
教育費・学費（子ども含む）	38人（6.4%）
冠婚葬祭費	20人（3.4%）
趣味・娯楽	104人（17.6%）
旅行費	20人（3.4%）
収入減や失業による補填	37人（6.3%）
他社借入の返済	11人（1.9%）



事業資金（個人事業含む）	21人（3.5%）
美容・整形費	0人（0.0%）
推し活	3人（0.5%）
ペット関連費用	2人（0.3%）
その他	36人（6.1%）

借り入れているお金の使用目的に関してアンケートをおこなった結果、生活費に使用している方が多いことがわかりました。

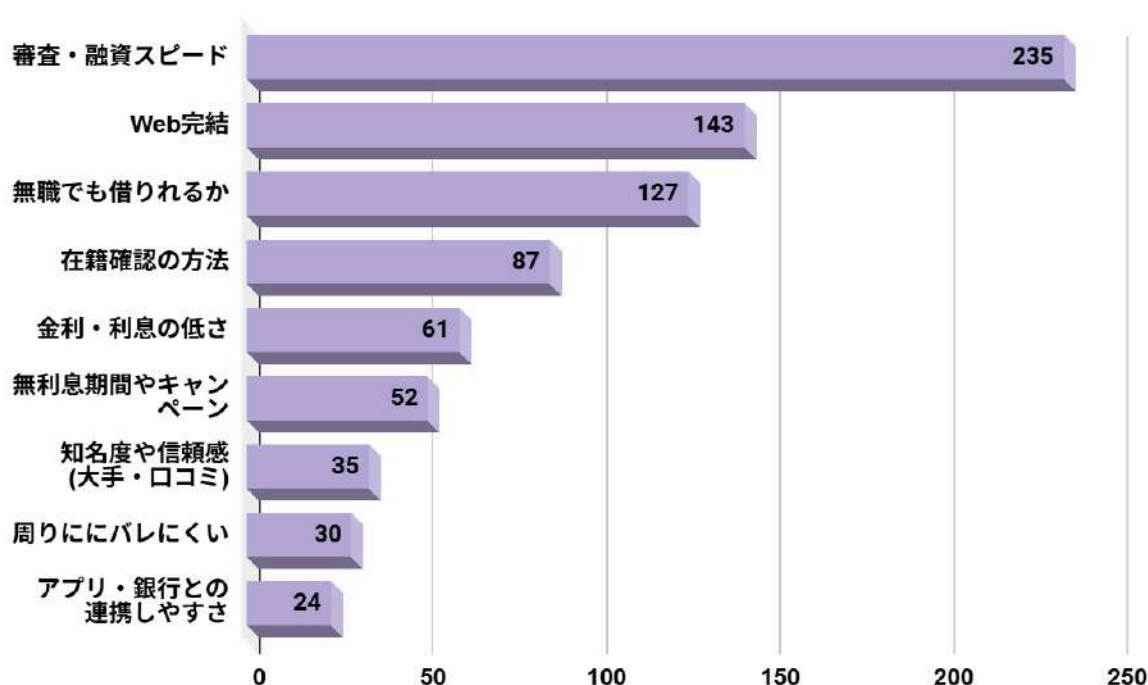
基本的に、借り入れたお金の使用用途は自由です。

そのため自分の年収や金融情報の状態に合わせて、借入を行う金融機関を選ぶことがおすすめです。

## Q4.お金を借り入れる際に重視したことはなんですか？

金融機関でお金を借り入れている方に、借り入れの際に重視した項目について回答していただきました。

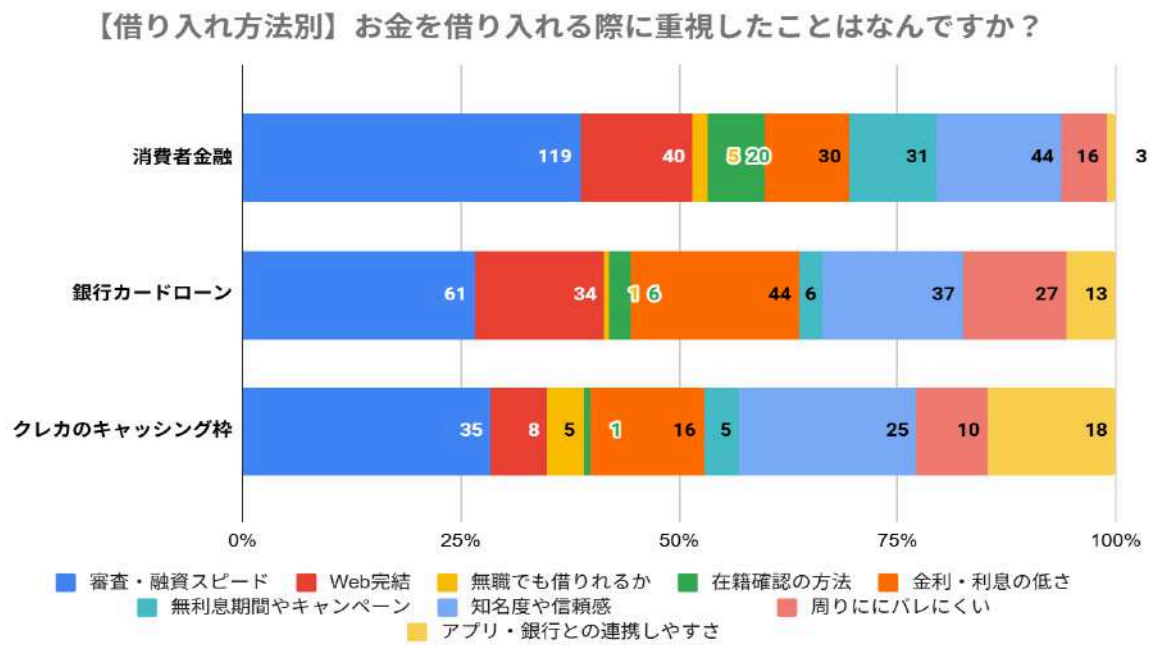
### お金を借り入れる際に重視したことはなんですか？



Q4.お金を借り入れる際に重視したことはなんですか？（423回答）	
審査・融資スピード	235人（29.6%）
Web完結	143人（18.0%）
無職でも借りれるか	127人（16.0%）
在籍確認の方法	87人（11.0%）
金利・利息の低さ	61人（7.7%）
無利息期間やキャンペーン	52人（6.5%）
知名度や信頼感(大手・口コミ)	35人（4.4%）
周りにバレにくい	30人（3.8%）
アプリ・銀行との連携しやすさ	24人（3.0%）

借り入れまでのスピード感や金利/利息を重視する方が多いという結果になりました。

借入方法別の重視する項目は以下の通りです。



【借り入れ方法別】 Q4.お金を借り入れる際に重視したことはなんですか？（423回答）			
	消費者金融	銀行カードローン	クレカのキャッシング枠
審査・融資スピードの速さ	119人	61人	35人
スマホだけで手続きが完結できるか	40人	34人	8人
無職でもお金が借りれるかどうか	5人	1人	5人
在籍確認の方法	20人	6人	1人
金利・利息の低さ	30人	44人	16人
無利息期間やキャンペーンなどの特典	31人	6人	5人
知名度や信頼感（大手・口コミ）	44人	37人	25人
家族や勤務先にバレにくい	16人	27人	10人
アプリ・銀行との連携しやすさ	3人	13人	18人

借入方法別に見ると、消費者金融は審査・融資スピードが突出して重視されており、手軽さ（スマホ完結・無利息特典）も評価されています。

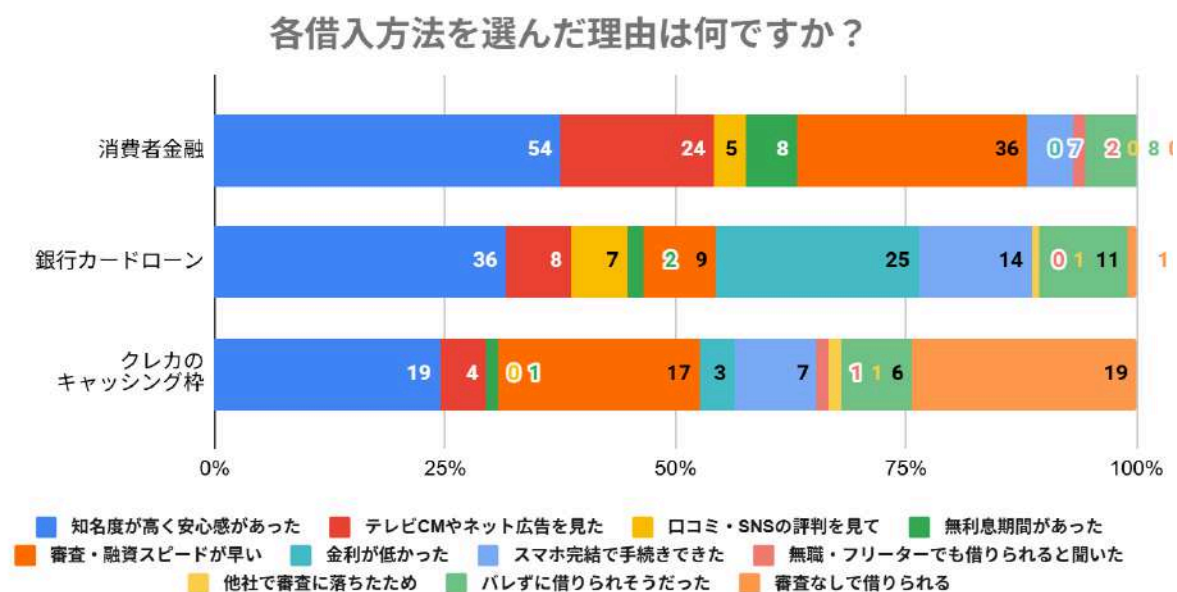
一方、銀行カードローンは金利の低さやバレにくさ、信頼感を重視する傾向が強く、慎重派・長期利用寄りのニーズが目立ちます。

クレカのキャッシング枠はスピードに加えてアプリ・銀行との連携しやすさや信頼感が相対的に高く、既存のカードでサッと借りたい層に向けた選択肢と言えます。

どの項目を重視するか考え、自分に合った借入方法を選択しましょう。

## Q5.各借入方法を選んだ理由は何ですか？

各金融機関でお金を借り入れている方に、その借入方法を選んだ理由について回答していただきました。



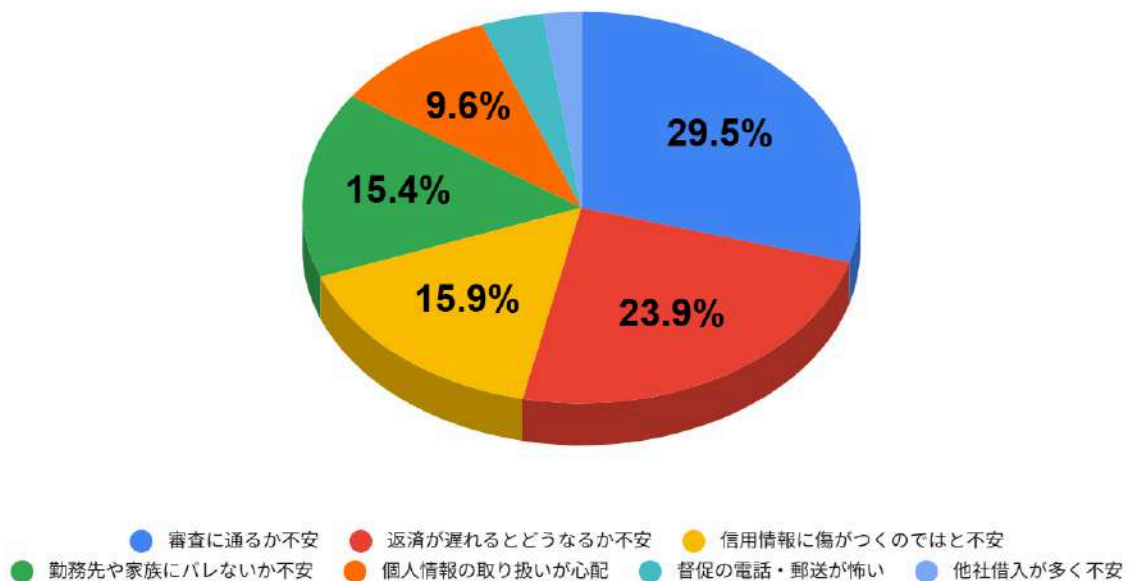
Q5.各借入方法を選んだ理由は何ですか？（423回答）				
	消費者金融	銀行カードローン	クレカのキャッシング枠	
知名度が高く安心感があった	54人	36人	19人	
テレビCMやネット広告を見た	24人	8人	4人	
口コミ・SNSの評判を見て	5人	7人	0人	
無利息期間があった	8人	2人	1人	
審査・融資スピードが早い	36人	9人	17人	
金利が低かった	0人	25人	3人	
スマホ完結で手続きできた	7人	14人	7人	
無職・フリーターでも借りられると聞いた	2人	0人	1人	
他社で審査に落ちたため	0人	1人	1人	
バレずに借りられそうだった	8人	11人	6人	
審査なしで借りられる	0人	1人	19人	

Q4の質問項目「お金を借り入れる際に重視したことはなんですか？」と同じような結果がでました。

消費者金融やキャッシング機能を選択した理由は審査・融資スピードの速さで、銀行カードローンやローン系は金利の低さから選択した方が多い結果となりました。

## Q6.貸金業社・制度を利用するにあたって、最も不安に感じる項目は何ですか？

貸金業社・制度の利用で最も不安な項目は何ですか？



Q6.貸金業社・制度の利用で最も不安な項目は何ですか？（423回答）	
審査に通るか不安	188人（29.5%）
返済が遅れるとどうなるか不安	152人（23.9%）
信用情報に傷がつくのではと不安	101人（15.9%）
勤務先や家族にバレないか不安	98人（15.4%）
個人情報の取り扱いが心配	61人（9.6%）
督促の電話・郵送が怖い	23人（3.6%）
他社借入が多く不安	14人（2.2%）

借入時の不安で最も多かったのは審査に通るかで、次いで返済が遅れたらどうなるかでした。

また信用情報への影響や家族・勤務先にバレないかも多く、借りる前後のリスクや周囲への影響を気にする人が目立ちます。

審査の柔軟さや返済サポート、在籍確認・郵送物の配慮などは借入先で差があるため、不安に合ったサービスを選ぶことが重要です。